

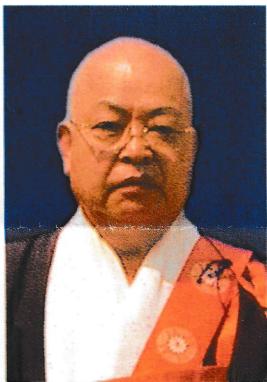
開運大摩利支天閣 最上稻荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和8年1月号

いのちに合掌

2031年は日蓮聖人の750遠忌に向けてお題目を唱えていきましょう。



妙法華寺第二十八世

下堂泰鑑上人 妙法華院日鑑上人遷化

檀信徒の皆さまへ。

父、下堂泰鑑が令和8年1月7日、95歳の生涯を終えました。誤嚥性肺炎でした。残念ながら、臨終には立ち会えませんでしたが、医師によれば苦しんだ様子もなく静かに息を引き取ったそうです。生前、父が大変お世話になりました。皆さまのご厚情に深く感謝いたします。

今だに父がいなくなつた現実を受け入れるのは難しく、時が解決してくれることに期待するほかありません。かくなる上は、父の分まで限りある命を大切に生きていこうと思います。父が読経している美しい後姿が、ことあるごとに浮かんできます。私はなにより、父の後姿が好きでした。 下堂泰鑑 長男 下堂貴政 合掌

庭瀬組寺のお上人方、檀家の方々の協力のもと、10日通夜、11日告別式を当山本堂で執り行いました。10日の午後から暴風となり、本堂の外などに張っていた幕は外れ、参列された方の為に設置したテントは倒れたため告別式前に撤収し、出棺後には暴風雪となつた日でした。そのような中、日蓮宗の多くのお上人方や檀信徒の方々の参列をいただき、難波総代が打った鐘楼堂の鐘の音を合図にご出棺されました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

当山の二十八世であられました下堂泰鑑上人は昭和39年の9月3日に、庭瀬城跡近くの本了院に住職として入られました。当時は本堂も隙間だらけでご苦労されたようです。

昭和60年の日蓮聖人750遠忌の記念事業として、現西花尻の淨地に寺院を遷座し、後に寺号を「妙法華寺」と改められました。今でも覚如山本了院妙法華寺と称し、古の院号も併記しております。

上人は最上稻荷山妙教寺の日宣上人の元で得度され、仏道にはげまれました。僧

侶の期間を法臘（ほうろう）といいますが、実に75年の年月でありました。最上稻荷の縁深く、平成21年10月に当山は「最上稻荷庭瀬支院」の称号も頂いております。長い間檀信徒の方にはお世話になりました。上人の増円妙道をお祈りします。なお、ご遺骨は四十九日まで妙法華寺本堂に安置させていただきます。合掌

◇ 行事報告 ◇

12月18日（木）摩利支天月例祭

令和7年最後の式典になりました。今年も無事に納めることができました。ありがとうございました。

1月1日（木）除夜の鐘



午前零時より約20名の方が参加され、お題目を唱えながら除夜の鐘を撞き、罪障消滅を願い、新たな気持ちで新年を迎えました。富山総代より、新年のご挨拶がありました。

毎年、住職不在の中、皆様のおかげで、今年も気持ちの良い新年が迎えられました。有り難うございました。

◇ 令和8年元旦へ ◇

仏像のほこりを落として、御宝前のお掃除をし、幣束、注連縄を取り替え、正月飾りができ、妙法華寺も新年をお迎えする準備が整いました。
令和8年が皆様にとって良き年となりますよう、祈念いたします。



◇ 行事案内 ◇

開運星祭（厄除け祈願）

2月4日（水）午前10時より本堂にて、「年中安全、厄除け諸難除け」の特別祈を行います。当日は、申込された御札一体一体にお香を通して、木剣修法を行い、御札に魂を入れます。お申し込みが未だの方は、至急お申し込み下さい。

なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方には、後日お送りいたします。

摩利支天月例祭

2月18日（水）、3月18日（水） 午前10時より執行いたします。

多くの摩利支天様がお座り頂いた御宝前にて各家の室内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。皆様のご参加をお待ちしております。

合掌